

(財) 報農会受託出版図書の紹介

岩田収二による

旧大根村の農事調査と鹿児島県下蝶類の分布研究

(ISBN 978-4-9903759-0-4 C1063 ¥1500E)

岩田俊一編著 平成 19 年 8 月刊行 B6 判 並製 215 頁

この本の内容の原本を書いた岩田収二は編著者の父で、鹿児島高等農林学校（現鹿児島大学農学部）農学科に大正 3 年（1914）に入学し、3 年生の時岡嶋銀次教授について昆虫学を専攻的に学び、大正 6 年 3 月に同校を卒業した。本書はこの収二の学生時代の仕事を主に紹介したもので、内容は 2 部からなっている。

第 1 部は岩田収二が高農 2 年生の時（大正 5 年）、学校（多分ある教授）から出された「農事調査」の課題に答えて提出した報告書である。郷里の農村（大根村）を調査地を選んで、村の農業事情、農家の農事慣行や生活習慣などが詳細に記録されている。村農会の農事奨励では、小学校の児童にメイチュウの採卵をさせて 1 卵塊 1 銭で買い上げることなどや、農地の小作方式、現金収入の少ない状況の中での農家の副業など、当時から 100 年近く経った現在との相違は驚くばかりである。

第 2 部は岩田収二の卒業論文の紹介と、その論文で収二が動物の地理的分布区に関して、東洋区と旧北区の境界線を南西諸島の何処に設けるべきかについて一説を提示したが、その研究の歴史的評価、またその研究や発表に絡む知られない話などが紹介されている。

（編著者）

報農会の事業の 1 つに、植物防疫関係者の自費出版を受託する事業があります。この本の出版が本事業の 4 件目になり、受託出版作業や出版書籍の体裁も形をなしてきました。本書をご覧いただき、この事業にご協力下さる方が今後増えることを心から期待しております。なお、この本をご入用の方は報農会へお問い合わせ下さい。

（財団法人 報農会）